

To Protect Our Climate



Our Vision, Our Work



設立から2年。Climate Integrateはひと回り大きな組織となりました。さまざまに寄せられる期待と支援に勇気づけられながら、新領域の事業を手がけ、新しいパートナーとコラボレーションを進めてきました。この1年、チームの力で達成できたことには、確かな手応えを感じています。

一方、気候変動をめぐるニュースは、不安が募ることばかりです。2023年は観測史上最も暑い1年で、平均気温は産業革命前と比べて1.45°C高い水準でした。1.5°C上昇に止めるという世界目標の達成がいよいよ厳しいという受け入れがたい現実がありながら、なお危機に向き合わないまま平然と日常が続いている世界の矛盾に、あきらめの空気が広がるのも無理もないことかもしれません。

ですが、このような状況だからこそ、現在地を知り、どのような対策が可能で、どのような政策が必要なのかを見極めていくこと、そして、そこから次への一步を切り拓くことが、ますます重要になっていると考えています。気候政策シンクタンクとしてのClimate Integrateの役割はそのためこそある、という思いを強くしています。

Climate Integrateは、脱炭素化を加速させ、公正で豊かな社会をつくることに向けて取り組み、さまざまな方々と引き続き連携していきます。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

代表理事 平田仁子

Kimiko Hirata, Ph.D, Executive Director

2021年ゴールドマン環境賞受賞、2022年英国放送BBC「100人の女性」選出

Climate Integrate 〈クライメート・インテグレート〉は、2022年に発足した、日本に拠点を置く独立した気候政策シンクタンクです。私たちは以下のビジョン・ミッション・バリューに基づいて、パリ協定と整合する政策の実現に向けた事業を行っています。

Vision

Climate Integrate は、気候を保護し、公正で持続的で平和な社会を実現することをめざします。

Mission

Climate Integrate は、調査分析・エンゲージメント・コミュニケーションを通じて、脱炭素化に向けた政策転換と行動の促進を図ります。

そして、科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチで、さまざまなアクターの脱炭素への取り組みを支援します。

Values

知識：気候政策に関する情報や分析を提供

誠実：透明性の高い参加型のプロセスと協議の支援

活力：多様なステークホルダーとのエンゲージメントによる脱炭素化の加速



脱炭素化への取り組みを加速するため

ファクトを示す 現状や課題を踏まえ、向かうべき方向性を示すシンクタンク

ファクトを伝える 確かな情報を提供し、支援するアドバイザー

の2つの機能で、ステークホルダー間の対話と合意形成を促進し、政策転換の扉を開いていきます。



気候を保護するためには、政府や企業の対策や政策を踏まえて、その先の対応策を見定めていくことが重要です。

Climate Integrateでは、継続的な情報収集を基礎に、気候変動に関連する複雑なテーマを掘り下げながら調査分析を行い、2023年度には4つのレポートや複数の情報冊子を作成しました。

独自の視点に立った新規性のあるテーマ設定やアプローチによる分析は、複数のメディアで取り上げられ、投資家・NGO・企業グループ・海外政府や団体など、多方面で活用されました。

政策動向をわかりやすく

日本政府の対策や政策には日々動きがあります。その全体像や実態の把握は、これからを展望する上で重要です。本年度は、政府の政策動向を整理・分析した2つのレポートをまとめました。

グリーンTRANSフォーメーション (GX) の動向分析

政府のGXに関連した法制化や戦略策定、国債発行などの動きについて、インサイト（情報冊子）（2023.7）と、レポート「GXとは？」（2024.1）を発行。パリ協定との整合性や、化石燃料への継続的な依存、グリーンウォッシュのリスクなどの論点を整理しました。

気候・エネルギー関連予算とGX投資の分析

気候・エネルギー関連の予算配分や規模の実態について、2024年度予算を包括的に分析。GX投資が占める割合や内訳なども明らかにしたレポート「日本政府の気候・エネルギー予算とGX投資の現状」（2024.3）を公表。これまで把握されてこなかった予算の実情を可視化しました。



世界の中での日本の位置を示す

世界の動向や日本のスタンスを明らかにし、国際社会における日本の位置を示すため、日本が議長国を務めたG7の会議についてインサイトで解説しました。

2023年G7サミットの検証

G7サミット（主要7カ国首脳会議）について、インサイト「2023年G7広島サミットの合意点」（2023.6）を作成。首脳コミュニケの概要や日本のリーダーシップの評価などを整理しました。



企業の取り組みを可視化する

日本の主要企業の積極的な取り組みは、世界および日本の脱炭素化の実現に向けて不可欠であることから、日本企業のネットゼロ対策に関する分析をレポートにまとめました。

企業のネットゼロの評価

日本のエネルギー多消費部門の主要10社について、ネットゼロ目標や対策などを分析。全ての企業で気候目標の透明性と環境統合性が低いことをレポート「ネットゼロを評価する：日本企業10社の気候目標レビュー」（2023.5）で明らかにしました。



家庭や地域の対策を示す

住宅・建築物における気候変動対策・政策について、CO₂削減効果だけでなく、健康と快適性の向上や光熱費の低下などのメリットがあることをレポートにまとめました。

住宅・建築物の気候変動対策

家庭や地域の取り組みとして「断熱+省エネ+再エネ」の組み合わせで、快適性や健康へのメリットを高めながらCO₂削減効果を得ることができることを解説し、政策強化と各アクターの役割についてまとめたレポート「住宅・建築物における気候変動対策」（2023.10）を公表。簡易版も作成し、幅広く配布しました。

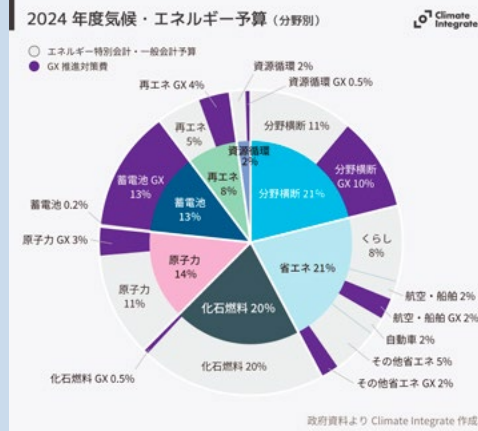


※断熱ワークショップ
（兵庫県豊岡市立清滝小学校）

脱炭素化を促進するためには、ファクトに基づく情報が適切に届き、幅広い層に共感や支持が広がり、対策の実施へとつながっていくことが重要です。Climate Integrateでは、デザインやビジュアル、独自の図版やチャート、インフォグラフィックなどを通じて、「ファクトを伝える」ことを重視。ファクトを可視化した各種ツールは、さまざまなステークホルダーに活用され、対話や合意形成の促進に寄与しました。

レポート「日本政府の気候・エネルギー予算とGX投資の現状」(2024.3)

2024年度の予算とGX予算の内容を可視化



レポート「グリーントランスフォーメーション (GX) とは？」(2024.1)

GX推進法のしくみを図でわかりやすく説明



伝わるツール

知恵と工夫によるツールを創作し、レポートなどの制作に活かしました。

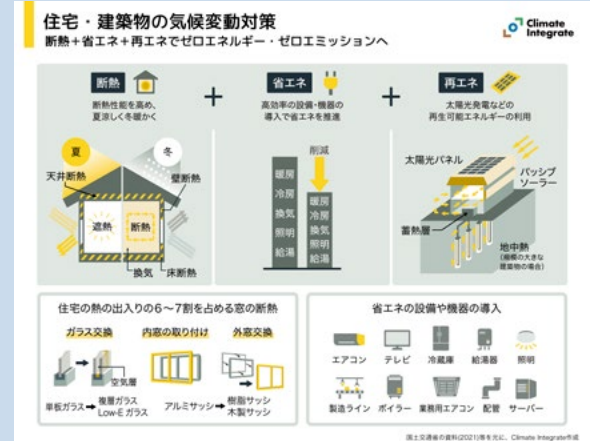


インサイト「2023年の気候変動をめぐる10のハイライト」(2023.4)

ハイライトをカレンダーに。インフォグラフィックはVISUAL THINKING

レポート「住宅・建築物における気候変動対策」(2023.10)

「断熱+省エネ+再エネ」の組み合わせが大事であることをビジュアル化



長野県白馬村職員と村民対象の研修会 (2023.7)



スノーボードブランド Burton各店舗で社員&ディーラー向けに講演 (2023.8-9)

在日アメリカ大使館とラウンドテーブルを共催 (2023.7&9)



スイス・ジュネーブ開催の「国連ビジネスと人権フォーラム」のオープニングブレナリー登壇 (2023.11)

フィナンシャル・タイムズ紙主催イベントでパネル登壇 (2024.2)



参議院「資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会」に参考人出席 (2024.2)

対話と支援

国連、日本・海外政府、地方自治体、企業、メディア、教育機関、生協、NGOなど
と対話を行い、政策の強化や合意形成の促進をサポートしました。

札幌市「さっぽろ気候変動タウンミーティング」講演 (2024.1)



Climate Integrateから図表資料を提供したパタゴニアの気候イベント (2024.1)

兵庫県豊岡市長と懇談 (2023.12)



朝日新聞主催「朝日地球会議」で、歌舞伎俳優の市川團十郎氏らと対談 (2023.10)

ウェビナー「ネットゼロを評価する」開催 (2023.5)



BS朝日『地球クライシス』にゲスト出演 (2024.1)

講演・連携先：(教育機関) 東京大学、京都大学、千葉商科大学、聖心女子大学、高崎経済大学、法政大学、中央大学、愛知みずほ大学など

(その他) 各国大使館、札幌市、酒田市、白馬村、市川市、葛飾区、文京区、豊岡市、グリーンコープ生協、生活クラブ、パルシステム連合会、東京消費者団体連絡センター、エシカル協会、SDGs in Sports、POW Japan、パタゴニア、パートナーなど



兵庫県豊岡市の皆さんと、「気候変動と観光」の視点で地域の発展の可能性を共に考え、2年越で取り組み、対策と施策の連動が始まっています。

- **宣言を発表**：2023年夏に「グラスゴー観光宣言」に署名、12月には「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」の実現に向け「神鍋高原ゆきみらい行動計画」を策定。
- **3つの柱**：カーボンニュートラル（気候変動対策）、ネイチャーポジティブ（地域資源の活用と再生）、サステナブルツーリズム（選ばれる観光地づくり）を柱にチャレンジ。
- **断熱ワークショップ**：寒くて暑い神鍋地域の取り組みの最初の実践として、2023年10月に地元の清滝小学校で、エネルギーまちづくり社・地元の工務店・豊岡市・日高神鍋観光協会との連携による断熱ワークショップを実施。
- **BS朝日の番組の取材**：BS朝日の番組で、事例として神鍋の取り組みを紹介。
- **市政とまちづくりへの連動**：断熱をテーマにした豊岡市職員研修の実施、市長への「神鍋高原ゆきみらい行動計画」の報告と懇談、豊岡市の観光イベント「ファンミーティング」でのトークイベントや視察の実施など、市政との連動に深まり。
- **実践へ**：宿泊施設や公共施設の省エネ化や断熱施策の強化への取り組みを継続中。

※ウェブサイトでは、断熱ワークショップの報告書や動画、関係者インタビューを掲載しています。



アワード

- Business Insiderの2023年「Climate Action 30」に平田が選出
- ロイターの2024年「Trailblazing Women in Climate」に平田が選出



連載／出演／インタビュー等

- 日経ビジネス『地球温暖化』：連載コラム「平田仁子と読み解く、パリ協定後の気候変動対策」
- Amazonポッドキャスト：『JAM THE WORLD - UP CLOSE』 2023.4
- ビデオニュース：「G7議長国の日本が主導すべき気候変動対策」 2023.5.18
- 光村図書『道徳科通信』：「気候変動問題を子どもたちにどう伝えるか」 2023.6
- 自治研中央推進委員会『自治研』：「インタビュー：求められる脱炭素対策の加速と自治体への期待」 2023.6
- 岩波書店『世界』：「日本の気候変動対策はなぜ進まないのか」 2023.10
- GWEC/JWPA：「世界洋上風力発電サミット」 2023.10
- 日本経済新聞：「複眼：COP28 1.5度目標の行方」 2023.10.30
- 朝日新聞：「朝日地球会議2023」 2023.11.8
- The Japan Times：「It's time to kick our addiction to fossil fuels」 2023.12.15
- BS朝日：「地球クライシス～気候危機 転換への道しるべ～」 第8弾 2024.1.6
- 神戸新聞：「識者インタビュー CO₂削減どう進める？」 2024.3.4



コメント掲載

The New York Times、The Japan Times、Reuters、Financial Times、Business Insider、朝日新聞、毎日新聞、共同通信社、日本経済新聞、NHK、中日新聞、神戸新聞、産経新聞など



X (旧Twitter)

2023年度投稿数：280

2023年度総インプレッション：332,689

最も注目されたポスト：

2024年3月のレポート「日本政府の気候・エネルギー予算とGX投稿の現状」

Our Team

	平田 仁子 代表理事		渡辺 千咲 プログラム・ディレクター		小俵 大明 プログラム・ディレクター		溝田 裕美 ディレクター、サステナブル・ファイナンス
	安井 裕之 公共政策ディレクター		佐藤多津子 プロジェクト・マネジャー		望月 ハル 上級リサーチ・アナリスト		小野里 悠紀子 オフィス・マネジャー
	川口 敦子 コミュニケーション・フェロー		井田 徹治 共同通信社編集委員 兼論説委員		白石 賢司 カリフォルニア大学バークレー校再生可能・適正エネルギー研究所 国立ローレンス・バークレー研究所		山岸 尚之 WWFジャパン自然保護室長
	佐々木 康之 コミュニケーション・マネジャー		大木 美幸 メディア&コミュニケーション・マネジャー		望月 ハル 上級リサーチ・アナリスト		小野里 悠紀子 オフィス・マネジャー

■ スタッフ ■ 理事

アドバイザー

ビル・ヘア CEO, Climate Analytics (気候科学)
 アシーナ・ロンキロ=バレステロス Managing Director, Climate Lead (気候資金・気候外交)
 蔵元 左近 弁護士 (法務、SDGs、ESG、ビジネスと人権)
 坪郷 實 早稲田大学名誉教授 (政治学・比較政治・環境ガバナンス・市民社会論)
 水口 剛 高崎経済大学学長 (責任投資・非財務情報開示)

パートナー

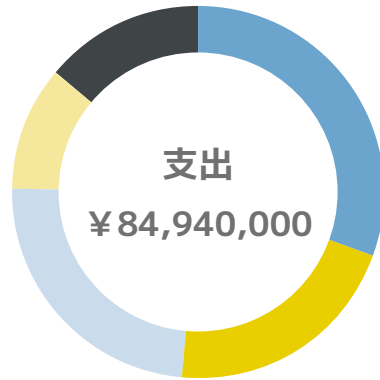
Lawrence Berkeley National Laboratory, US
 NewClimate Institute, Germany
 Helten Communications, Canada

Visual Thinking, Japan
 THREE IS A MAGIC NUMBER, Japan
 日高神鍋観光協会

2023年度会計報告



- 助成金 98.3%
- 自主事業 1.7%



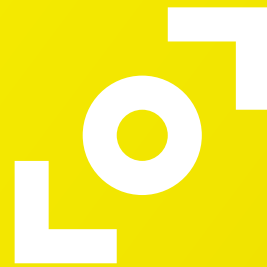
- 調査 30.6%
- 政策参画 21.0%
- 情報発信 23.8%
- 対話・助言・支援 10.9%
- 管理部門 13.7%



Climate Integrateは、独立した気候政策シンクタンクです。気候政策に関する調査分析や、政府・地方自治体・企業・市民の脱炭素の取り組みを支援しています。

2024.6発行
デザイン：佐々木ヤスユキ

To Protect Our Climate



Our Vision, Our Work